

### 補正予算で議決された「テレワーク環境整備」を問う

自由民主党議員団 内川 和久



補正予算の当初の内容から大きく変更されている。本来であれば、減額補正をし、改めて出し直すべき。目的さえ変わらなければ、内容変更は認められるとの区側の姿勢は受け入れられない。内容等の変更がある場合は、その都度、議会側へ丁寧な説明、報告があるべきでは。

**区長** 都度丁寧な報告に努めるべきであった。今後は改善していきたい。

### 保育行政について問う

①認証保育所から認可保育所への転園が多数ある。児童数に応じた、補助と保育料収入の減により、認証保育所・

れに代わる区独自の支援策が必要であると考えがどうか。

**区長** ①定員が充足した場合の給付費の最低基準を設け、当月実績額との差額を補填することを検討している。

②来年度も国が補助金を継続する見込みであり、区も継続する方向で検討を進めている。

③ソーシャルワーカーである(仮称)地域連携推進員が保育所を訪問し、家庭状況や子どもの発達状況に応じた助言等をするを検討している。



### 空き店舗情報データベースを整備し商店街の活性化を行え

立憲民主党・無所属議員団 杉山 司



区として様々な経済対策を行い、商店や飲食店の事業復活の対策をする一方、新型コロナ禍で生まれた空き店舗に灯をともしることが必要であり、高齢者福祉施策を含めた商店街活性化施策も考えるべきである。

①空き店舗情報をデータベース化し、支援しては。

②実証実験的に特定の商店街の活性化推進を行っている。

**区長** ①データベース化は困難であるが、家主へのアドバイス等の支援は検討する。

②実現可能性について中野区商店街連合会と協議を行う。

### 中野区産業振興推進機構の運営改善をせよ

区政課題を解決し、区内産業をICTで下支えしていくのが本来の姿であると考え、区の見解は。

**区長** 区の産業発展や区政課題の解決に貢献するよう、協議を行っていく。

### ギフトド・チルドレンを認識し、支援を検討せよ

生き辛さを抱えている児童や生徒に対し、どのように寄り添い、才能を伸ばしていけるか検討すべきではないか。

**教育長** 一人ひとりの子どもたちの特性や状況に応じた学びの在り方を研究していく。

### 区民のくらし・営業を守るため更なる支援策を

日本共産党議員団 浦野 さとみ



持続化給付金や家賃支援給付金、都の協力金など、現時点で使える支援策を全て活用した区民から「更なる支援策がなければ商売を継続できない」との声も少なくない。また、給付金の対象にならない事業主も多いため、①今後更なる支援策を検討すべきでは。

②国や都に、第2弾の持続化給付金や家賃支援給付金などの支援策を求めるべきでは。

**区長** ①検討を進めていく。

②必要に応じて継続的な支援策を求めていく。

### 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を問う

公明党議員団 小林 ぜんいち



①福祉推進課を事務局とした検証委員会での総括、評価、検証、報告の状況は。②全庁的な事業の見直し、BCPの総括、評価、検証の状況は。

③第三波への全庁的な予防対策とBCPの統一方針はできているのか。④今後の取組の具体的なロードマップはあるか。⑤令和3年度予算編成で、経費の削減により区民サービスに影響する事業はないのか。

**区長** ①保健師等への聞き取り等検証を行い、改善に向けた検討を行っている。今後も議論を続け区政運営に活かしたい。

### 区有施設のアセットマネジメントを問う

①同じ機能の施設の集約や民間活力の活用により、施設数を縮小することは可能か。

②中野駅周辺まちづくりに伴い、シルバー人材センター本部拠点機能の中野駅周辺公共施設等への移転を検討しては。

③中野駅周辺の人口増に対し、児童等子ども施設、高齢者施設の配置の考え方は。

**区長** ①施設の再整備に当たり、機能の集約化・複合化、民間活力の活用等の必要がある。施設数は、今定例会で示す予定である。

②区と連携がとりやすい配置の検討が必要であり、今定例会で考え方を示す予定である。

③乳幼児については、需要と供給を見極め、保育施設の誘導を進める必要がある。高齢者については、将来的な介護ニーズの変化を捉える必要がある。

**教育長** ③小中学生については、小学校改築や通学区域の見直し等により対応できる。

### 旧中野刑務所正門の歴史・価値を生かした保存活用を

区としての文化財指定をどのように考え、時期はどうか検討しているか。

**区長** 用地取得し、取り扱い方針を決定後、検討する。

### 専門性と人員を確保し適切な生活保護行政を進めよ

ケースワーカーの外部委託や非正規化の推進ではなく、正規公務員の増員と専門職採用などによる専門性の確保、調査事務等の簡素化や効率

### 「第3波」が到来した今、新型コロナウイルス対策の検証を

自由民主党議員団 伊藤 正信



11月27日時点で、一日の感染者数は過去最多を更新した。国や都の動向を見極め、先手先手の対策を講じることが急務である。一方で、検証なく、効果的な政策実施はできない。第3回定例会で、区長は、取り組んできた対策の検証を行うことは、今後、よりの確な対策を打ち出す上で必要と答弁したが、様々な対策の検証内容が明らかでない。

①どのような検証をし、課題を見出したのか。②第4波を想定した取組はどう考えているか。

**区長** ①危機管理等対策会議で、対策に係る課題を共有し協議をしている。現在は家庭内や会食での感染リスクが大きいと捉えている。②区民への広報活動や、関係機関等との連携を強化し、迅速かつ適切な対策を講じていく。

### 小学校の食中毒に対する区長の説明責任を問う

公表時点では、10月12日から22日にかけて、105名の児童等が発熱、腹痛、下痢などを発症した。中野区政が始まって以来の大きな事故である。区の最高責任者で、「子育て先進区」とうたっている区長は、記者会見で謝罪していない。せめてこの場で説明責任を果たすべきでは。

**区長** 保護者の皆様、特に児童の皆様につらい思いやご迷惑をおかけし、深く反省している。再発防止策を区全体で共有し、二度と起こさぬよう努力していきたい。

### 地域の声を踏まえた上高田地域のまちづくりを

①旧上高田小学校跡地は地域の拠点となってきた場所であり、安易な売却や地域の声を踏まえない活用はすべきでないと考えがどうか。

②五丁目公有地を有効活用するため、住民参加での検討を行うべきでは。

**区長** ①代替校舎としての活用を想定している。②地域の声を聞き、丁寧に進める。

### 鋼橋区民活動センターの移転整備の進捗状況を問う

令和2年度以降に予定していた基本計画策定を見合わせた。今後の整備は、どのような計画と見直しになるのか。

**区長** 地域の意見をふまえ、併設施設の考え方や整備内容を見直し、進めたい。

